

令和4年度法務省委託事業

ハンセン病問題に関する
「親と子のシンポジウム」

報 告 書

令和4年度法務省委託「ハンセン病問題に関する『親と子のシンポジウム』」実施完了報告

1 実施概要

- (1) テーマ： ハンセン病問題に関する「親と子のシンポジウム」
- (2) 日時： 令和4年7月30日（土）午後1時30分～午後4時
- (3) 形式： オンライン（リアルタイム）配信
岡山コンベンションセンターレセプションホール
（岡山県岡山市北区駅元町14番1号リットシティビル2階）をメイン会場として配信
- (4) 対象者： 一般市民 ※ 参加費無料
- (5) 主催： 法務省、厚生労働省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、岡山地方法務局、岡山県人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進センター
- (6) 後援： 中小企業庁、全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、瀬戸内市、瀬戸内市教育委員会、岡山県市長会、岡山県町村会、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日本財団（順不同）
- (7) 内容：

【第1部】

- 開会～主催者挨拶
- 動画上映「ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～」
（令和2年度法務省委託） ※一部抜粋上映
- 基調講演
中尾伸治（国立療養所長島愛生園入所者自治会会長）
屋猛司（国立療養所邑久光明園入所者自治会会長）
- 動画上映
 - ・人権作文動画「ウイルスよりも怖いもの」（第40回全国中学生人権作文コンテスト・第40回大会記念賞受賞者 小西祥生）
 - ・第40回全国中学生人権作文コンテスト・メッセージ動画（第33回全国中学生人権作文コンテスト・法務大臣賞受賞者 後藤泉稀）
- パネルディスカッション
 - ・パネリスト
小西祥生（第40回全国中学生人権作文コンテスト・第40回大会記念賞 受賞者）
後藤泉稀（第33回全国中学生人権作文コンテスト・法務大臣賞 受賞者）
森光玲雄（日本赤十字災害救護研究所心理社会的支援部門長（兼）諏訪赤十字病院臨床心理課長）
中尾伸治（国立療養所長島愛生園入所者自治会会長）
屋猛司（国立療養所邑久光明園入所者自治会会長）
 - ・コーディネーター
坂元茂樹（公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長）

【第2部】

- ビデオメッセージ
豎山勲（ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会事務局長）
森和男（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長、国立療養所大島青松園入所者自治会会

長)

ハンセン病家族訴訟原告 代表 原告番号169番

● 閉会

2 目的

ハンセン病問題に関する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえず、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見・差別は、今なお社会に根深く残っている。それにもかかわらず、我々は、このコロナ禍において、新たな感染症に対する思い込みや不安から生じる偏見・差別の問題に直面している。

そこで、ハンセン病問題に関わってこられた方々や当事者の方々の声を聴き、ハンセン病問題を決して風化させることなく、その正しい知識と理解を次の世代を担う人々に伝えていくとともに、同じ過ちを繰り返すことなく、偏見・差別のない社会を実現するためにはどうしたらよいか、親子で考えていくためのシンポジウムを開催する。

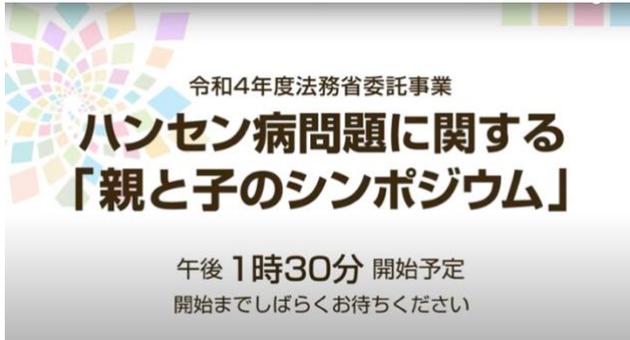
3 参加者数等

925人 (YouTube「ユニーク視聴者数」)

※参考：同「視聴回数」1,787回

同「最大同時視聴者数」461人

4 配信の様子（画面イメージ）



ライブ配信前：案内



主催者挨拶：法務省



主催者挨拶：厚生労働省



主催者挨拶：文部科学省



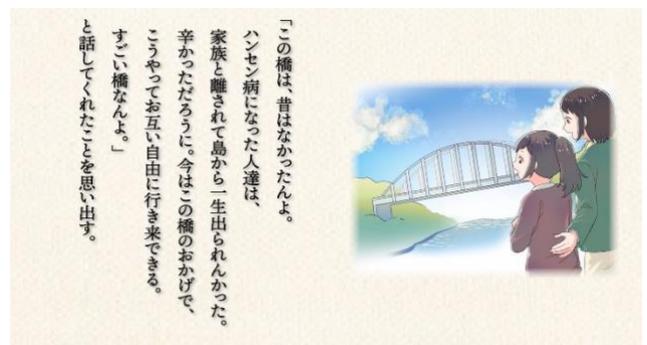
動画上映「ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～」



基調講演：中尾伸治（国立療養所長島愛生園入所者自治会会長）



基調講演：屋猛司（国立療養所邑久光明園入所者自治会会長）



人権作文動画「ウイルスよりも怖いもの」（第40回全国中学生人権作文コンテスト・第40回大会記念賞受賞者 小西祥生）



第40回全国中学生人権作文コンテスト・メッセージ動画（第33回全国中学生人権作文コンテスト・法務大臣賞受賞者 後藤泉稀）



パネリスト：小西祥生（第40回全国中学生人権作文コンテスト・第40回大会記念賞受賞者）



パネリスト：後藤泉稀（第33回全国中学生人権作文コンテスト・法務大臣賞受賞者）



パネリスト：森光玲雄（日本赤十字災害救護研究所心理社会的支援部門長（兼）諏訪赤十字病院臨床心理課長）



コーディネーター：坂元茂樹（（公財）人権教育啓発推進センター理事長）



ビデオメッセージ：堅山勲（ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会事務局長）



ハンセン病家族訴訟原告 代表

原告番号169番

ビデオメッセージ：森和男（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長、国立療養所大島青松園入所者自治会会長）

別添

- ・当日配布資料（ダウンロード用プログラム）
- ・アンケート集計結果
- ・採録記事（紙面イメージ）

5 オンライン（アーカイブ配信）

本シンポジウム終了後、YouTube 人権チャンネルにおいて、オンライン（アーカイブ）配信を実施。（令和4年7月30日（土）の公開から1年間限定）

2022.7.30 令和4年度「ハンセン病問題に関する『親と子のシンポジウム』」

<https://youtu.be/DzveU0Xrloc>